

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目保健体育 (職)教授 (氏名)門多 嘉人

取組状況	
教育	<p>①第1学年を担当し、コロナ禍において、バレーボールのみ対面授業をして実施することができた。パス技術を中心に授業を展開し、ゲームにおいてもパスを繋ぐことができるようになった。 また、ネット準備や片付けなどを協力して行うことができる指導ができた。</p> <p>②遠隔授業において、保健体育科教員、非常勤講師の協力を得ながら動画を用いた教材を作成した。授業においてこの教材を用いることで学生たちが積極的に運動をおこなうことができていた。</p> <p>③対面授業を実施している時は、できる限り学生たちに声掛けを行った。</p>
研究	<p>①低学年における発育と体力の実態調査、及びアンケート調査を体力テストを用いて実施した。 体力テストの時期が通常春先に実施しているが例年とは半年ずれたことや、コロナ禍における遠隔授業によって体力がどのように変化していったのかを検証中。 継続的に状況を調査していくことで、今後の授業に生かすことができると考えられる。</p>
社会貢献	<p>①近隣中学生を集めてバスケットボールの練習試合の実施や技術講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施することができなかった。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響で施設開放を実施することはできなかったが、施設点検は毎月行うことができた。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響で対面式による講習会は開催されなかったが、オンラインによる指導者講習会の実施の補助をおこなうことができた。</p>